

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和5年度補正予算分)
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 福井県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジンフクイフクシジギョウダン
法人名	社会福祉法人ふくい福祉事業団
フリガナ	ジャクエツミドリノムラ
事業所名	若越みどりの村
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」÷「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
61.6人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☒ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数): aams/アアムス (4台)

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認	32 人	122 件	1,464 件	6 分	4,685 人時間	5 時間
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			122 件	1,464 件	6 分	4,685 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

＜※1＞B. ひと月当たり発生件数の算出方法

ロボット機器を設置する利用者の居室への夜間の訪室回数(4回)×365日÷12月にて算出

＜※2＞D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

ロボット機器を設置する利用者4人の訪室時の対応に要する時間を計測し、4人の平均対応時間を算出
--

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認	32 人	122 件	1,464 件	5 分	3,904 人時間	
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			122 件	1,464 件	5 分	3,904 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

＜※3＞B. ひと月当たり発生件数の算出方法

ロボット機器を設置する利用者の居室への夜間の訪室回数(4回)×365日÷12月にて算出

＜※4＞D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

ロボット機器を設置する利用者4人の訪室時の対応に要する時間を計測し、4人の平均対応時間を算出
--

年間業務時間数想定削減率(%)

16.7%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

職員は、遠隔から利用者の生体情報や睡眠状態を適宜確認できるため、心理的な負担を含め、業務の負担軽減につながっている。また、体調悪化の兆候を早く確認できることから迅速な対応が可能となり、利用者の安心・安全の向上に繋がっている。

(5)今後の課題

睡眠状態や生体情報を確認しながら個々に応じた支援を実施すること、また、機器のメンテナンスを定期的に行い、確実な動作環境を維持していくことが課題である。

(6)気づき等について

センサーが正しい位置に設置されていないと正確な情報が得られないため、センサーの位置が適切かどうか就寝前に確認する必要がある。また、就寝時の生体情報等がパソコン内に蓄積されるため、利用者個人の睡眠等の傾向や体調変化の経過を確認できるため、より細かな健康管理ができる。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円／月)	
職員の質上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。